

醸造文化を生かして観光客を呼び込む

竜の子街道プロジェクト

中部国際空港の東に位置する西尾、半田、碧南、常滑の4市は、古くから酒やみそ、しょうゆといった醸造品が盛んに作られてきた、日本有数の「醸造地帯」です。平成28年に、4市が連携して「竜の子街道プロジェクト」を立ち上げ、醸造文化を活用した新しい観光戦略に取り組んでいます。

問 商工観光課観光担当 (☎ 65・2169)

「醸造」が根付く4つのまち

17世紀後半、西三河や知多半島の酒が江戸で飲まれるようになり、輸送に便利な海沿いに多くの蔵ができました。その後、酒造りで培われた醸造技術が生かされ、みそやしょうゆなどの醸造調味料が作られると、

それらは江戸に流通。当時発展しつつあった「和食」を支える調味料となりました。

平成28年6月、醸造が根付くこの地域を国内外に広くPRしようとして、西尾、半田、碧南、常滑の4市が連携して「竜の子街道プロジェクト」を始動しました。4市を囲む形が「タツノオトシゴ」に似

ていること、また、国が進める観光プロジェクト「昇龍道」に接していることから、龍の子の道として「竜の子街道」と命名。観光ツアーやイベントを実施し、醸造にまつわる産業資源を軸に、食や文化、景観など地域の観光資源をPRしています。

主な取り組み

- ・イベントへの出店：4市のほか、東京都や名古屋市中で行われる物産展などのイベントに出店し、地域の魅力や醸造品のおいしさをPRしています。
- ・観光ツアーの実施・宿泊プランの設定：名古屋市中発着の日帰りバスツアーを実施するほか、特典付きの宿泊プランを設定しています。詳しくは3ページをご覧ください。
- ・オリジナルメニューの開発：名古屋文化短期大学の学生が中心となり、醸造品を使用したご当地グルメを開発しました。一色産うなぎが入った巻き寿司に豆みそだれを塗って



竜の子ロール

屋文化短期大学の学生が中心となり、醸造品を使用したご当地グルメを開発しました。一色産うなぎが入った巻き寿司に豆みそだれを塗って



動画「日本の真ん中には、うま味の故郷がある。竜の子街道」

竜の子街道プロジェクトホームページのQRコード



常滑
tokoname

半田
handa

碧南
hekinan

西尾
nishio



歴史ある、多彩な蔵元

酒、みそ、しょうゆ、みりん、酢。4つのまちには、古くから醸造品を作ってきた多彩な蔵元があり、豊かな味わいを提供しています。

酒 7蔵



矢作川の清流と豊かな土壌で育った良質な米から、おいしい酒が古くから作られていました。西尾市内では現在、山崎（代表銘柄「尊皇」／西幡豆町）と相生ユニビオ（代表銘柄「相生乃松」／下町）が製造しています。江戸時代、アルコール度数が高い三河や知多の酒は、鬼をも酔わす「鬼ころし」と呼ばれ、親しまれたといわれています。

・山崎：酒蔵の歴史や酒造りの工程など、伝統の醸造を知ることができます。見学は予約が必要です。



みそ 7蔵

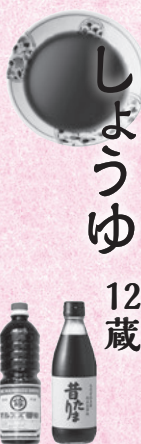


江戸時代前期に「赤みそ」とも呼ばれる豆みその醸造が知多で始まり、発展しました。最も古い蔵は寛文5（1665）年創業の盛田（常滑市）で、西尾市内では現在、はと屋（吾妻町）、すずみぞ醸造場（東幡豆町）、今井醸造（吉良町）が製造しています。

・みそばーく・はと屋（吾妻町）：みそのテーマパーク。実際の蔵で桶を見学できます。みそなどが購入できる売店やみそ料理が中心の自然食ビュッフェレストランもあります。



しょうゆ 12蔵



江戸時代から製塩が盛んだった吉良で作られた良質な饗庭塩は、地元三河だけでなく、知多のたまり醸造にも使われました。西尾市内では現在、はと屋とすずみぞ醸造場がしょうゆを製造しています。

・ありがとうの里（碧南市）：白だし、の元祖、七福醸造の工場見学や白しょうゆの味見、白だしを使った卵焼きなどの試食ができます。

みりん 5蔵



江戸時代に廻船問屋が今の碧南市で作り始めました。自ら船で江戸に運ぶと、うなぎ屋やそば屋で使われ「三河みりん」として親しまれてきました。西尾市内では現在、相生ユニビオが製造しています。

・九重味淋（碧南市）：安永元（1772）年創業。国の登録有形文化財「大蔵」を見学できます。道具や古文書が展示されている九重みりん時代館の見学は、予約が必要です。

酢 1蔵



酒造業として文化元（1804）年に創業したミツカン（半田市）が、江戸時代後期に酒粕を原料に酢作りに挑戦。できた粕酢は米酢に比べて庶民でも使いやすく、江戸に寿司ブームが起るきっかけとなりました。

・ミツカンミュージアム（半田市）：酢作りの歴史や食文化を楽しく学べる体験型博物館。見学は予約が必要です。

竜の子街道 宿泊プラン

3月31日（土）までに、次の宿泊施設で宿泊すると、1泊につき2つの共通特典が受けられます。オリジナル特典がある宿泊施設もあります。

宿泊施設

- ・西尾市：吉良観光ホテル（☎32・181）、旅館やまと（☎32・0238）、三河湾リゾートリンクス（☎32・3711）、マルトラ別館（☎32・3111）、民宿オサキ（☎32・2819）、海鮮宿はや河（☎32・1986）、グリーンホテル三ヶ根（☎62・4111）
- ・半田市：アズイン半田インター（☎0569・21・3388）、名鉄イン知多半田駅前（☎0569・23・3434）、センターワンホテル半田（☎0569・21・6555）
- ・碧南市：衣浦港湾会館（☎0566・48・3551）、衣浦グランドホテル（☎0566・41・7171）
- ・常滑市：中部国際空港セントレアホテル（☎0569・38・1111）

共通特典提供施設

- ・西尾市：旧近衛邸、西尾観光案内所、みそばーく
- ・半田市：半田赤レンガ建物、ミツカンミュージアム、CLACITY
- ・碧南市：碧南海浜水族館、ありがとうの里、碧南市哲学たいけん村無我苑
- ・常滑市：大蔵餅、ココテラス、常滑屋

申電話で各宿泊施設へ。宿泊プランを利用する旨を伝えてください。